

令和4年度 さいたま市立道祖土小学校
第1回学校運営協議会 議事録

【日 時】令和4年6月9日（木） 13時20分～15時00分

【場 所】道祖土小学校 3階 第1図書室

【議事録】

○開会

○校長あいさつ

○令和4年度学校経営方針について（校長より説明）

- ・学校教育目標「心豊かで たくましい 道祖土っ子の育成
～認め合い・学び合い・高め合う～」について
- ・令和4年度の学校経営方針等について
 - ・学力向上に関する取組について
 - ・安心・安全に関する取組について
 - ・開かれた学校づくりに関する取組について
 - ・教職員の資質向上に関する取組について
 - ・コミュニティ・スクールについて
 - ・令和3年度学校運営協議会準備委員会における熟議内容について

○委嘱状交付

○準備会委員長選出

○参加者自己紹介

○各委員より

- ・委員長を務めさせていただく。コロナ禍で学校を取り巻く環境が大きく変わってきた。今の中学年以下は、コロナ前の、我々が共通して持つ学校像を持っていない。そのような状況を踏まえつつ、子どもたちのために、よいと考えられることをやっていく。
- ・中学校では、地域で貢献できる子の育成を目指している。自校の中学生は地域に貢献する意欲が高いが、これは小学校で既に取り組んでいるからであろう。小学校で培ったものを、中学校へどう引き継いでいくかが大切になってくると考える。
- ・小さい子どもほどコロナの影響を受けているように感じる。例えば、友達とうまく遊べず、一人で遊ぶ子が増えたように感じる。小学校と連携をとっていきたい。
- ・学校関係の業務が初めてである。登校の見守りを通して子どもたちから元気をもたらしている。子どもたちをまっすぐ育てていきたい。
- ・人づくり・絆づくり・地域づくりという視点をもって取り組んでいきたい。そして学校と同じ方向でのベクトルで進めていきたい。
- ・自身の子、孫が道祖土小を卒業した。地域の目としてチャレンジスクールに取り組んでいる。チャレンジスクールを通して子どもたちをしっかり見つめていきたい。
- ・地域等と子どもたちの関わりは、他県の学校の様子と比べると進んでいる（関わりが

多い) ように思える。その取り組みを膨らませていければいいと思う。

- ・チャレンジスクールは100名を超えた児童が参加している。この伝統的な雰囲気大切にしていきたい。

○いじめ防止について(教務主任より説明)

○校内授業参観

○質疑応答、意見等(全体を通して)

- ・1・2年生、落ち着いて授業を受けていた。私たちの時代には考えられない。木崎中でも生徒が落ち着いていた。そう考えたとき小学校から落ち着いている感じは安心する。そして将来が楽しみである。
- ・改めて、小学校現場もいいなあと感じる。小学校で育った子どもたちを中・高とどのようにつなげていくかが大切と感じている。数年後を見据えていく必要がある。18歳で成人ということはそれまでに「自立させていく」ことが大切である。しかし、今の保護者は、過保護の傾向がある。また一方で放任やネグレクトのケースも見られる。保幼小中のつながりをもっと綿密にしていきたい。木崎地区が一体となっていく必要がある。子どもたちのために何ができるかやれる範囲で考えていきたい。
- ・いくつか、気になるクラスがあるように感じた。集団で過ごすことができない児童がいた。先生方が、細かく対応している様子が見られた。保育園としてもできることを考えていきたい。
- ・子どもたちの教室をじっくり見るのは初めてであった。子どもと先生との距離が近く友達みたいな関係で驚いた。(大正・昭和の子どもと先生の関係と比べて)このままの雰囲気で中学校へ、そして大人へなって平気なのか。規律をどのように教えていくのか、気になっている。
- ・現役時に働いていた欧州の職場では、周りはみんな個性的な人が多かった。学校は「みんな同じ」という雰囲気に違和感がある。世界に出ていくためにはしっかりとしたパーソナリティが必要。ヨーロッパの人たちはもっと主張してくる。日本ももっと個性を伸ばしていく必要を感じる。
- ・先生が若くてフレッシュだと感じた。板書もきれいであった。1・2年生はよく勉強をしていてえらいと感じた。鉛筆の持ち方が少し気になった。下駄箱はきれいにかかどがそろえられていた。これから熱中症に気を付けて頑張してほしい。
- ・家庭や保護者がふだんどうやってしつけをしているか、親の力が試されている。学校は、限界まで一生懸命に子どもへの支援をしてくれている。保護者の立場として、自分たちの子育て力を高める必要がある。
- ・学校は心の避難所であってほしい。毎朝、子どもの表情を気にしてみている。朝、元気がなくても帰りは元気な様子が見られる。

○連絡

- ・さいたま市CS推進に係る横断幕掲載フレーズの募集について

○閉会